

事業名 事業主体及び提案者	6 ミニデイサービス事業 特定非営利活動法人 シニアネットワークさがみ 木下麻理江																			
事業内容 (詳細は別添資料 企画書概要、再提案概要のとおり)	「どういう問題を解決しようとしているか」 少子高齢社会がますます進む中で、心身共に元気で健康に過ごし、出来るだけ最後まで自立して生活していけるよう「介護予防型」「健康増進型」「地域交流型」のミニデイサービスを実施したい。																			
協働の内容	「具体的な協働の項目」 公(市、社協)との協働を望む 市や社協の事業と違う独特な活動内容の事業を行い、ヒアリング報告の委員のおっしゃっている市全体として多様なニーズに応えられるミニサロンが展開できたら良いと思っている。 情報交換を行い、お互いの役割を確認したい。 地域住民への情報伝達の手段として広報やまとの掲載、関係機関にパンフレットをおくなどしたい。																			
審査内容 (評価結果)	<table border="1" data-bbox="491 875 1348 1093"> <thead> <tr> <th></th> <th>実現性が高い</th> <th>熟度を高める必要がある</th> <th>実現することが難しい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政所管課</td> <td></td> <td></td> <td>高齢者福祉課</td> </tr> <tr> <td>担当推進委員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい	提案者				行政所管課			高齢者福祉課	担当推進委員			
	実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい																	
提案者																				
行政所管課			高齢者福祉課																	
担当推進委員																				
コメント (公開審査時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニサロン活動として市内でのモデル事業の実績をつくる。(推進委員) ・市民事業として展開すべきではないか。(推進委員) ・地域の自発的なミニデイサービスは社協の11地区で行われている。行政としてはあくまでそれをソフト面など側面から支援していく立場を取りたい。(行政) ・プログラムなどもより地域のニーズにあったものをめざしてく。北部地域を中心に送迎サービスなども取り入れ、市と協働というよりいっしょに活動していくという気持ちで取り組みたい。(提案者) 																			
公開審査後の経過																				
協働推進会議の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で、きめ細かなサービスを行うという特徴を活かし、市民事業として進めるべきだと思う。 ・今後同様な活動を行っている団体同士のネットワーク化をすすめ、一緒に協働事業として提案する方法もあると思う。 ・「社会福祉協議会がやっているから」という発言が市職員からあったが、社協と協働事業とは対立(競合)するのかどうか、協働事業としての位置づけが必要。 																			
具体的に検討を要請する事項	当面、協働事業として実現することは難しいが、次の点について検討いただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民事業への支援。 ・行政と社協が連携しているミニデイサービス事業に、各地で自発するミニデイサービス事業を包括する協働事業の可能性。 																			